

施策評価シート【分野別施策】

施策名			関係部				
4-④	農業・漁業を振興する		産業振興部、農業委員会事務局				
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単位	計画 策定時	実績値				目標値 31 年度
			27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	
農地利用集積面積	ha	105	108	113			120
漁港施設の機能保全 (更新率)	%	2	3	6			38
関連事業							
○都市農業促進事業○ひらつか花アグリ推進事業○担い手総合対策事業○農道・用排水路整備事業 ○水産振興推進事業○魚食普及促進事業○都市漁村交流支援事業○漁業後継者育成事業○農地流動 化促進事業							
決算額							
	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度			
事業費(千円)	64,945						
執行率(%)	77.46						
施策の推進に向けた主な取組の「成果」							
●ひらつか花アグリ各施設が連携し、新たなイベントを追加開催するなど、来場者の確保を図りました。また、農水産物の生産者と消費者の交流事業や消費促進に関する取組を支援することで、都市農業への理解を促しました。 ●農作業受委託組織に対し農業機械等購入費の補助を行うとともに、湘南地域担い手育成総合支援協議会において、新たな担い手の育成・確保や農地の利用集積に向けた取組を支援しました。 ●農業・漁業の生産基盤の強化を進めるため、農道や用排水路の改修・整備をするとともに、漁港施設の機能保全工事に着手し農漁業の生産性の向上を図りました。 ●平塚市漁協の漁場環境の向上に資する取組や漁業者の設備導入に対して支援することで、水産物の付加価値化や販路拡大を図りました。また、海域の安全利用に係る経費を負担しました。 ●朝市など各種イベントを通じて、水産物の消費拡大やひらつかタマ三郎漁港まつり等の交流イベントを拡充することで、漁業や海の魅力の理解を図りました。							

施策を推進する上での「課題」	課題解決を図るための「取組方針」
●都市農業の持つ、景観形成や環境保全、交流の場などの多面的な機能を周知しながら、新鮮な農産物の地産地消を推進していく必要があります。 ●農業に関わる様々な相談に対応するため、相談窓口の機能を充実していく必要があります。 ●持続的に農業振興を図るため、農道・用排水路の整備が必要です。 ●農水産業の振興を図るために、地産地消や販路拡大を6次産業化等を活用し促進する必要があります。 ●漁港周辺において、魚の魅力を十分に味わえる滞在型のエリアとしての役割が求められています。 ●漁業の経営や生産基盤の強化を進め、安定した魅力ある産業として、多様な担い手の確保を目指す必要があります。 ●農業経営の効率化や遊休農地の削減に向け、多様な担い手への貸し借りによる農地の利用集積を迅速に推進する必要があります。	●都市農業の理解促進のため、直売会等のイベントを支援します。また、地産地消や農業所得の向上を図るため、産業間連携ネットワークを活用し、6次産業化等を目指します。 ●地域農業の経営力向上を図るため、関係機関と連携し、農業支援ワンストップ相談窓口を出張して開催するほか、市内農作業受委託組織に農業機械等購入費を一部補助します。 ●農業生産性の向上を図るため、農道・用排水路の整備に当たり、県補助金を活用しつつ、地元農業者の理解を得ながら進めます。 ●農水産業者の経営安定のため、農水産物の付加価値化や販路拡大につながる6次産業化等の取組を支援します。 ●漁業への理解促進や漁港の賑わいの創出のため、各種イベントを開催するとともに、来訪者を受け入れるための交流機能等を整備します。 ●漁業後継者を育成するため、「浜の活力再生プラン」を支援することで、水産業の魅力アップを図ります。 ●新たに設置された農地利用最適化推進委員と共に、農地中間管理機構と連携し、農地の貸し借りのあっせんを行います。